

HELLO SAGA

やさしい日本語啓発セミナー



2018さが国際フェスタ



平成31年度 SPIRA 賛助会員募集!!

Thank you for your time today!

今日はお時間をありがとうございました。

facebook.com/kumadaiquate
kumadaiquate.wordpress.com
kumadaiquate@gmail.com

文化防災公開セミナー
外国人と話そう 地域の防災
日本人と話そう 防災って何?

外国人のためのすぐに役立つ体験型防災セミナー



多文化防災公開セミナー



【年会費】個人会員 3,000円/団体会員 10,000円 ※当協会が作製する情報誌HELLO SAGAを年4回お届けします。
賛助会員のみなさまには平成30年度も温かいご支援を賜りありがとうございました。今年度も、SPIRAは多文化共生の佐賀県づくりに邁進して参ります。引き続きご協力・ご支援のほどよろしくお願いいたします。

平成30年度の賛助会員のみなさま (平成31年3月13日現在)

●個人会員 99名 ●団体会員 28団体 (50音順)

- 一般社団法人 佐賀県建設業協会
- 一般社団法人 佐賀県労働者福祉協議会
- 伊万里金融協会
- オイスカ佐賀県推進協議会
- かしま日本語教室
- 株式会社 佐賀新聞社
- 株式会社 サガテレビ
- 株式会社 副島印刷
- 唐津ボランティアガイド
- 公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団(アバンセ)
- 国立大学法人 佐賀大学 国際交流推進センター
- こんにちワークSaga
- 佐賀経友会事業協同組合
- 佐賀県商工会連合会
- 佐賀県信用農業協同組合連合会
- 佐賀県地域婦人連絡協議会
- 佐賀県農業協同組合中央会
- 佐賀玄海漁業協同組合
- 佐賀女子短期大学
- 佐賀女子短期大学 グローバル教育センター
- 社会福祉法人 佐賀整肢学園
- 上海稻承教育科技有限公司
- 特定非営利活動法人 国際協力の会MIS
- 特定非営利活動法人 地球市民の会
- 特定非営利活動法人 ヒーリングファミリー-財団
- 西九州大学
- 日本文化教育学院
- ラボ国際交流地域会 (公益財団法人ラボ国際交流センター)



佐賀県国際交流協会
SPIRA

(公財) 佐賀県国際交流協会

Saga Prefecture International Relations Association

〒840-0826 佐賀市白山2丁目1番12号 佐賀商工ビル1F

TEL.0952-25-7921 FAX.0952-26-2055 E-mail: info@spira.or.jp

Consultation Service (相談専用) TEL.0952-22-7830 [ここにこなやみゼロ](https://www.spira.or.jp)

HP: <https://www.spira.or.jp> (日本語、英語、中国語、韓国語のページがあります)

FB: <https://www.facebook.com/spira.saga/>



SPIRAのHP



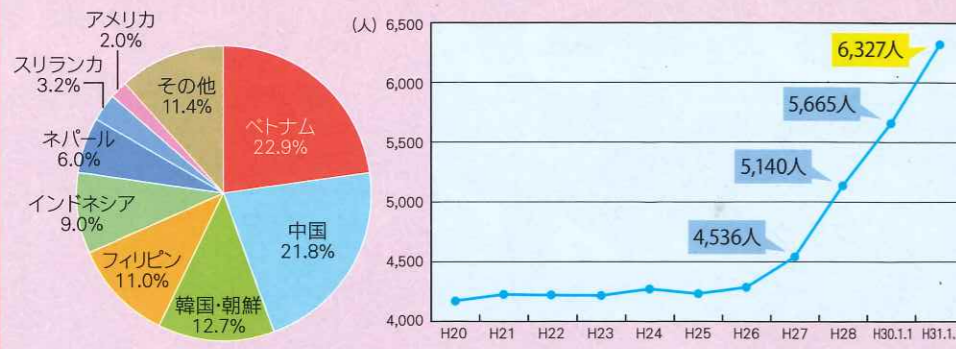
Find us on Facebook



本誌についてのご意見、お問い合わせ、情報提供や掲載のご依頼などがありましたら、是非お寄せください。

平成31年度の佐賀県国際交流協会の取組

在住外国人現況 [県内在住外国人人数(平成31年1月1日現在)]



佐賀県内に居住している外国人住民の数は平成31年(2019年)1月1日現在で6,327人(県内人口比0.7%)となりました。国籍別ではベトナムが1,736人で22.9%、次いで中国が1,273人で21.8%、在留資格別でみると技能実習が2,585人で40%と最も多くなっており、次いで永住者、留学の順となっています。

また、昨年成立した改正出入国管理法に基づく新制度により政府は4月から5年間で最大34万5150人を受け入れる方針で、全国的に単純労働分野を含めた外国人労働者の受け入れ拡大が進められます。これから佐賀の外国人も更に増加していくことが予想されます。

外国人が日本で生活する際に直面する困難は大きく3つあると言われています。1つは「言葉の壁」。つまり、日本語でのコミュニケーションがうまくできないこと。2つめは「制度の壁」。病院や学校、労働環境など日常生活を送る上で、さまざまな制度上の制限や支援制度にたどり着けなかったりする問題があります。そして3つめが「心の壁」。つまり、受け入れる側の日本人の側の接し方の問題です。佐賀県国際交流協会では、この3つの壁を超えやすくするための支援を行っています。

2月8日CODO外語観光専門学校のクラスで、SPIRAの企画交流課長の矢富が講義をしました。



講義のテーマは「みんなで出来るボランティアを考えよう！」

日頃から学生に「県内のNPOの存在を知ってもらいたい」「もっと地域の方との関わりを持つために、ボランティアに参加してほしい」という学校側の思いから実施された「ボランティア学」の一コマをSPIRAが担当しました。前半の授業では、私達SPIRA事業の多くは、ボランティアの方々の活躍で支えられていることを紹介。後半は、学生たちが佐賀で実際に生活して困ったこと、その困った時にどういったサポートがあれば良かったかをグループワークで意見を出し合いました。学生からは、アパートを探す時に保証人が居ないと部屋を借りられなくて困った、携帯の契約内容が難しく、よく分からず高い料金プランになっていて支払いが大変だった等の声がありました。次に、グループワークで出た事例に対し、自分だったらどんなサポートが出来るかを話してもらい、学生たちはボランティアとして支援者になり活躍することが出来るという気づきを得ていました。最後に地域のボランティア活動への積極的な参加を全員に呼びかけました。

佐賀市循環型社会推進課と佐賀女子短期大学の学生さんが一緒に「外国人のためのごみ出しガイド」を作製しました！

佐賀女子短期大学では地域みらい学という授業の一環で、地域社会のグローバル化と課題そして解決を考える取り組みをされています。昨年度には小城市の観光マップも作製されたそうです。



<取り組みのきっかけ> 佐賀市循環型社会推進課

2年前に技能実習生受入企業で出前講座をさせていただきました。できるだけやさしい日本語を意識しましたが、言葉だけでは伝わらないと実感。「決められた日」に「決められたわけ方」で「決められた場所」にごみを出すという日本特有の生活ルールや生活習慣の違いからくる戸惑いを少しでも解消出来たらと考えました。昨年開催された佐賀市地域づくり交流会で、佐賀女子短期大学の泉氏(地(知)の拠点大学による地方創生推進事業コーディネーター)と出会い、その時に学内での取組(小城市の観光マップ翻訳)を伺い、佐賀市の事業構想についてお話をさせていただいたことがきっかけで、佐賀女子短期大学さんとの取組が始まりました。

佐賀女子短期大学で行われたこの取組の発表会に、SPIRA職員もおじゃましてきました！

学生さんたちはこの授業で、まずは自分たちが佐賀市のごみ処理の仕組みやごみの出し方を理解するところから始め、佐賀市清掃工場の見学にも行ったそうです。自分たちでアイデアを出し合って作り、翻訳したガイドブックの案をもとに、佐賀市の職員さんによって佐賀市に住む外国人との意見交換会が開かれ、そこで出た意見をもとに更に改良されました。紙面にはQRコードが掲載されていて、読み込むと5言語の音声で説明された動画をみることもできるんだそう。(多言語への翻訳や声の吹き込みは留学生が担当しました！)



佐賀女子短期大学 学生のみさんの感想

- 外国人のためのごみ出しガイドや動画づくりを通して「日本のあたりまえが外国人にとってはあたりまえじゃないことがわかった。自分も知らなかったごみの出し方があるって、この活動のおかげで正しく出来るようになった。」
- 自分の国となぜこんなに方法が違うんだろうと疑問だったけど、この活動のおかげで謎がとけました。(韓国からの留学生)
- どうしたら外国人にとってわかりやすくなるか考えるのは難しかったけれど、良いものが出来上がったと思う。少しでも役立つと嬉しいです。
- このような取り組みは自分たちだけではできない活動。地域との連携が大切だと思った。

佐賀市循環型社会推進課

学生と一緒に取り組めたことで留学生(韓国、ベトナム、フィリピン)の母国のごみ出し事情を共有できたこと、「ごみ出しガイド」を利用する側の目線で率直な意見がもらえたこと、また、学生ならではのアイデアがたくさん出て、今回作製した「ごみ出しガイド」が分かりやすく利用しやすいものになったことが大きな収穫です。私たち市も非常に刺激を受けました。

この「ごみ出しガイド」を作るにあたって、やさしい日本語で表現し、それをやさしい英語に翻訳するという作業をされたそうです。佐賀市の職員さんによると、行政は様々な人が読む事を前提として冊子を作製するため、情報を掲載し過ぎる傾向があり、それが読みにくさにつながるのでは...ということで、このガイドブックは、よりシンプルになるような工夫がなされているんですね。今後佐賀市では、完成したガイドブックを活用し、外国人だけでなく日本人も対象にした出前講座を考えているそうです。生活する上で避けては通れない「ごみ出し」。市の担当者さんは、これを通じて、お互いの言語、文化、生活習慣の違いへの理解を促進し、無理解から生じる外国人への差別や偏見の解消を図り、多文化共生の地域づくりに寄与することが出来ればと話されています。今回は佐賀市の取組を紹介しました！このような取組が他の地域にも広がると嬉しいです。

平成31年度 SPIRAの事業紹介

SPIRAは「コミュニケーション支援」、「生活支援」、「多文化共生の地域づくり」の3つの柱を軸に、事業を展開しています!!

コミュニケーション支援



情報誌HELLO SAGA(やさしい日本語版)発行、日本語教室支援、日本語教師養成講座助成、日本語学習ボランティア研修、日本語スピーチコンテスト、「やさしい日本語」啓発セミナー等

生活支援

- 医療通訳サポーター派遣事業、医療通訳サポーター研修、医療通訳コールセンター
- 生活相談窓口運営、生活相談通訳コールセンター
- 子ども日本語学習サポーター派遣、子ども日本語学習サポーター養成講座、外国人のための体験型防災セミナー

多文化共生の地域づくり



異文化理解出前講座、多文化共生理解出前講座、情報誌HELLO SAGA(日本人向け)発行、メールマガジン発行、国際交流・協働イベント事業、国際交流団体等助成事業、多文化共生写真展等

SDGsってなに?



最近、この画像をよく目にするようになりました。「SDGs(エスディーゼーズ)」と呼ばれていますが、みなさんはどんなものかご存知ですか?

SDGsは「Sustainable Development Goals」の頭文字をとったもので、「持続可能な開発目標」という意味です。

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓い、持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットから構成されています。

17の目標とは、「1.貧困をなくそう」に始まり、「5.ジェンダー平等を実現しよう」や、「10.人や国の不平等をなくそう」、「17.パートナーシップで目標を達成しよう」までの17の目標を指し、カラフルなマークがそれを表しています。そして、その目標をより具体的に示したのがターゲットです。ひとつの目標につき5~10のターゲットが示されていて、全部合わせると169になります。

SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本も積極的に取り組んでいます。

また、SDGsは私たち一人ひとりにも密接に関わっています。実際に、ゴール12には「2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする」という、個人の生活や意識の変革を必要とするようなターゲットが設定されています。

これからの未来に引き継いでいくためには、SDGsを特別なものとしてではなく、自分のこととして捉え、それぞれの生活の中に浸透させていくことが大切ですね。



『外国人と共に働くシリーズ No.1』

今年度は、全4回のシリーズで「佐賀で外国人と共に働くことは、どういうこと?」や「外国人がいる職場って、どんな職場?」などをテーマに、『共に働く』について特集します。

第1回目は、留学生として佐賀で日本語を勉強しているミャンマー出身のスーウィリアンさんです。好きな食べ物は、佐賀のお米に塩をかけて食べること。そんなスーさんは、昼間は日本語学校に通い、学費を稼ぐために深夜から朝方まで工場でコンビニのサンドイッチを作るアルバイトをしています。職場では、「佐賀弁の説明が分からなくても、質問すると怒られてしまうんじゃないか」と思ひ、わかりましたと答えてしまったり、ごみの分別が難しかったりして、戸惑うことも多かったです。でも、今はゆっくりわかるまで説明してくれる日本人の同僚と出会い、とても働きやすくなりました。休日に一緒にリンゴ狩りにも行きましたよ!と話してくれました。

“やさしい日本語”で丁寧に説明することで、会話の理解度はグッと上がります。良好なコミュニケーションは良質な人間関係を作り、ミスやトラブルも軽減できます。ちょっとした配慮で、何でも相談できる関係作りは、お互い気持ちの良い職場環境づくりにもつながりますね。外国人と共に働いている皆さんは、ぜひ「やさしい日本語」で話してみてください。



国際協力団体紹介



《武雄国際交流フェスタ実行委員会》

昨年より武雄で始まった「武雄国際交流フェスタ」の第2回が、1月27日に開催されました。今回は、その実行委員会の実行委員長 スコットさんにインタビューしました!

Q. ではスコットさん、まずは自己紹介をお願いします。

A. イギリス出身。武雄市でALTとして働いて4年目。ALT地域代表を務めています。国際交流と日本文化や歴史(特に武士道)に深く興味を持っています。趣味は主に登山、旅行と空手。極めて冒険的で知らないことについて聞きたがる性格なので、新しい体験を常に探しています。

Q. 「武雄国際交流フェスタ実行委員会」はどんな団体ですか?

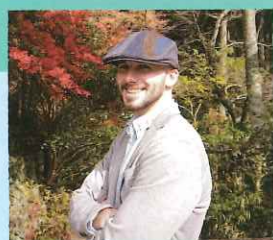
A. 私たちの暮らす武雄市や佐賀西部エリアでは、多くのアジアからの外国人の方々もALTとは違い、ほぼ目の届かない所で勉強したり、働いたりします。この実行委員会は、ALT以外の在住外国人に感謝を込めると共に、西部エリアに暮らしている市民に国際交流・多国籍文化の意義を伝えたいという目的で活動しています。委員は11人で、日頃から積極的に国際交流に携わっている人たちです。武雄国際交流フェスタ実行委員を募集した際に佐賀県内の様々な国際交流イベント(多文化共生、多言語災害訓練など)で出逢い、実行委員会を発足しました。

Q. 1月27日に行われた武雄国際交流フェスタについて教えてください。

A. 2年目となる今年は、13団体・組織による様々な文化紹介、異文化理解、ゲーム、ダンス、音楽と2つの料理教室を行い、嬉しいことに200人以上の方が参加してくださいました! 来客や団体のみなさんの幸せそうな顔を見る事ができたり、実行委員会の努力の成果が見えた事が実行委員長として一番よかったと感じています。

Q. 最後に、武雄国際交流フェスタ実行委員会と、スコットさん自身のこれからの計画を教えてください

A. 実は、私はもうすぐ仕事のために佐賀から離れることになり、一緒に活動できるのは今回のフェスタがおそらく最後だと思います。ですが、私が佐賀県にいても、実行委員会はこれからも武雄で国際活動を続けていく予定です。私は次の場所でも、また国際交流フェスタをつくりたいです。



お問い合わせ: 武雄国際交流フェスタ実行委員会 Facebookあります。

武雄国際交流フェスタ

イベント等、情報用アイコン

日時 場所 対象・定員 お問合せ・申込み 電話 メールアドレス FAX 参加費・受講料等

ランチャタイム Englishセミナー

佐賀県国際交流員が全編英語で行うランチャタイムEnglish Seminars。軽食の持ち込みが可能ですので、お昼ご飯を食べながらお気軽にご参加ください。

初回は4月23日(火) 今年度も偶数月の第4火曜日に実施する予定です
12:15~12:50

佐賀県国際交流プラザ(佐賀商工ビル1F) 無料

くらしさぼーとさかの外国人無料相談会

行政書士さんによる外国人のための無料相談会です。予約をすれば通訳もつきますので、日本語ができなくても大丈夫です。

毎月第3土曜日 13:00~16:00

090-3328-2123

(くらしさぼーとさが 松枝さん)

※通訳が必要な人は、予約してください。



その他のイベントやセミナーについては、
当協会のHPやFacebookで随時更新します!

HP



Facebook



Find us on Facebook